

【校訓】協心 【教育目標】こころをひらき 未来をひらく
ひろく考える子ども みんなにやさしくできる子ども 心と体をきたえる子ども



かけはし

太田東小学校学校報
令和6年度 No.17
2024. 7. 17

大仙市教育委員会の皆様が学校を訪問されました。

7月12日、大仙市教育長 伊藤 雅己 様、大仙市教育委員 玉井 有紗 様をはじめ、7名の教育委員会の方が訪問されました。本校の子どもたちの授業の様子をご覧いただき、学校経営と授業についてご指導いただきました。

◆石河 大介 指導主事

- ・子どもたちの疑問を生かしためあてが設定されていてよかった。
- ・どの学級も、研究の視点に沿って、ICTを活用し表現力の向上を図っている様子が見えたとし、振り返りを大事にして自分の変容を感じられるよう配慮されていた。

◆藤原 秀一 事務局長

- ・教員のマスクがなくなって、先生たちのいい表情、子どもたちのいい表情が見られてよかった。若い先生が多いことを強みにしてほしい。150周年事業を生かして、地域に貢献できる子どもに育ててほしい。

◆玉井 有紗 教育委員

- ・教室や廊下の整理整頓もしっかりされており、学校教育目標や学級目標の教室掲示も統一されていて気持ちよかった。各学年とも、子どもたちが学習に向かえており、意見や感想が活発に交わされ、元気でよかった。

○昨年度末の保護者アンケートにおけるお子さんの様子「学校が楽しい」「授業が楽しく分かりやすい」の「とても当てはまる」が、前年度よりマイナスでした。また、「学校はタブレット等のICT機器を効果的に活用して教育活動を進めている」の「とてもよく当てはまる」も前年度よりマイナスでした。学校では、この数値を少しでも上げるために先生方が尽力しております。教育委員会の皆様にもご理解いただき嬉しかったです。

◆佐々木 泰宏 次長兼教育指導課長

- ・教室や廊下に子どもの作品が掲示され、子どもたちを大切にしている様子がかうかえた。子どもたちはクラスメイトと関わるのが好きだという姿がたくさん見られた。高学年でも自由に発言できる温かい雰囲気を感じられた。子どもたちのいい笑顔も見られた。

◆伊藤 雅己 教育長

- ・発達段階に沿った、子どもらしいいい姿がたくさん見られた。全体的に子どもたちが人や課題に向いている。また、全体的に子どもたちが穏やかな表情だった。これからも楽しい授業であってほしいので、先生方は子どもたちの表情の変化を見てほしい。「心の元気」が何より大事だと思っている。ICTについては自然に使える毎日になっていると思う。
- ・子どもたちには、先生がいない、学校外・地域での自然な姿の時でも、確かに力がついているのかを保護者と協力して確認してほしい。学校としての教育の柱をしっかりさせ、学年が変わっても担任が替わっても、柱に沿って6年間で子どもを育てるという意識を先生方はもってほしい。

